

SBI ラップ ALL株式コース ホワイトペーパー

1. はじめに

「SBI ラップ ALL株式コース」は、3つの株式戦略を通して主に株式に投資し、運用のプロが市場環境に合わせて機動的に資産配分を変更することで、世界株式*を上回るパフォーマンスを目指す投資一任サービスです。

「SBI ラップ ALL株式コース」では、経済や金利などマクロな視点から経済状況を分析し、業種やファクター、国・地域の配分を決めるトップダウン・アプローチを基に三井住友DSアセットマネジメント株式会社（以下、「SMDAM」と表示）独自の運用戦略を採用し、3つの株式戦略（米国株式セクター戦略、米国株式ファクター戦略、グローバル株式（米国除く）戦略）の配分や、各株式戦略内の投資対象および配分を市場環境に応じて機動的に変更することで、中長期的に世界株式*を上回るパフォーマンスを目指します。

*世界株式を表象する指数として、MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）を使用しています。

「SBI ラップ ALL株式コース」の主な特徴としては以下が挙げられます。

- 投資対象ファンドの保有比率の算出は、SMDAMからの投資助言を参考に、株式会社 FOLIO（以下、「FOLIO」と表示）が決定します。SMDAMからの助言は、「投資環境会議」、「投資政策会議」での定量戦略と定性戦略を組み合わせた投資判断に基づきます。
- FOLIOはSMDAMからの助言内容などを参考情報とし、運用戦略等に照らし合わせ、その妥当性を検証した上で最終的な配分比率を決定します。また、お客様のポートフォリオを、常にモニタリングし、市場の動向に合わせたメンテナンスを適宜行います。
- 一連の運用フローにおいて、システムによる定量的な分析に加えて、人間の予想や分析を組み合わせることで、最適化したポートフォリオの構築を目指します。
- 投資対象ファンドは、SMDAMの数多くの運用戦略の中から厳選した、3本のアクティブファンドです。

2. 株式戦略の概要および投資対象銘柄の選定

「SBI ラップ ALL株式コース」の採用している3つの株式戦略は以下の通りです。

① 米国株式セクター戦略

米国株式のセクター別指数の値動きに連動するETFを主な投資対象とし、定量分析に基づきセクター別のスコアを算出し、定性戦略も加味することで投資対象となるセクターを選別、資産配分の決定、投資を行う戦略です。これにより中長期的にS & P 500インデックス（配当込み、円換算ベース）を上回る投資成果を目指します。

② 米国株式ファクター戦略

米国株式の特性に焦点を当てたファクターに関する指数の値動きに連動するETFを主な投資対象とし、景気局面を定量分析により判別し、各局面において有効なファクターへ投資する戦略です。定量分析だけではなく、定性戦略も加味することで、中長期的にS & P 500インデックス（配当込み、円換算ベース）を上回る投資成果を目指します。

③ グローバル株式（除く米国）戦略

米国を除く世界（欧州、日本、新興国）の株式指数に連動するETFを主な投資対象とし、定量分析により各国・地域をスコアリングし、定性戦略を加味した上で投資判断を行う戦略です。これにより中長期的にMSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（除く米国）（配当込み、円換算ベース）を上回る投資成果を目指します。

「SBI ラップ ALL株式コース」では、中長期的な視点からお客様の資産の成長を目指し、3つの異なる株式戦略のファンドに投資します。これらの投資対象ファンドは、それぞれの株式戦略に基づいた運用により、ETFや銘柄群の保有を通じて、それぞれの株式戦略で設定しているベンチマークを上回る運用成果を目指します。投資対象ファンドの選定については、SMDAMからの助言を参考に、以下の観点を考慮し決定しています。

① パフォーマンス：競争優位性があり、株式市場の様々な局面に対応可能な戦略であること

以下に、パフォーマンスの代表的な観点を記載します。

モメンタム：投資家の選好が集中・変化する環境での優位性

景気サイクル：景気の回復・悪化などの各局面において受益する戦略であること

金利・為替動向：株式市場以外の環境変化が生じた際の優位性

② 運用プロセスの強み：運用プロセスが特徴的であり、超過収益獲得の点から強みがあること

③ 再現性：運用プロセスを含め、今後のパフォーマンスの再現性が期待できること

3. 資産配分の考え方

以下は、「SBIラップ ALL株式コース」の運用戦略の詳細です。

「投資哲学と収益目標」

「SBIラップ ALL株式コース」では、セクターやファクター、国・地域といったレベルでの価格変動は、おおよそ3-36か月程度の種々のモメンタムと、景気動向に基づくマクロ環境の変動の2つで説明できるという投資哲学を掲げています。社会構造の変化などに影響されにくいと考える定量戦略をベースとし、定式化が困難である部分を定性判断で補足することで、中長期的に安定かつ市場を上回るパフォーマンスの獲得を目指します。

「定量戦略」

定量戦略は、有効性が高いと判断した複数指標の組み合わせにより各戦略の投資先を決定するものです。いずれもモメンタムを重視しており、例えば株価の絶対・相対リターンや、景気の現状や方向性を定量的に求めることで、当該環境でアウトパフォームする蓋然性が高いセクターやファクター、国・地域を選定するものです。

「定性戦略」

定性戦略は、定量戦略では定式化できない部分を補足するためのものになります。SMDAMでは、投資環境会議（マクロ分科会）、投資環境会議（市場評価分科会）においてマクロ経済や各資産の動向について議論し、投資政策会議（グローバル株式）でのボトムアップによる市場環境の見方や知見などをあわせることで、定量戦略では捉えきれない部分を定性戦略として策定します。

「資産配分の決定」

定量戦略により選定したセクターやファクター、国・地域、およびそれぞれの配分比率をベースに、定性戦略を加味した投資判断をSMDAM内で開催される投資政策会議（クオンツ運用）に諮り、最終的な3つの株式戦略の配分および各戦略内の投資対象、配分を決定します。

4. リバランス

「SBI ラップ ALL株式コース」では、最適な資産運用を実現するために市場環境やポートフォリオの状況のモニタリングを日々行い、リバランスなどのメンテナンスを必要に応じて実施します。

「SBI ラップ ALL株式コース」では、FOLIOが投資判断を行う際に参考とする、SMDAMが最適と考える配分比率は、原則月次で見直しが行われ、その際に市場環境に応じて機動的に資産配分を変更するため、お客様のポートフォリオも同様に変更する必要があります。また、運用開始時に最適ポートフォリオを構築したとしても、その後の運用を経て、ポートフォリオ内の保有比率は徐々に変化します。そこで、「SBI ラップ ALL株式コース」ではSMDAMから投資助言を受ける頻度を踏まえ、原則として月に1回、お客様のポートフォリオの配分比率を最適な状態にするようにリバランスを行います。

5. 投資委員会

FOLIO では、「SBIラップ ALL株式コース」の投資対象ファンド及び運用アルゴリズムの内容を決定する投資委員会を設置しています。投資委員会では、客観的かつ専門的な観点から想定した運用がなされているかのモニタリングを行い、必要に応じて、投資対象ファンドの入れ替え及び資産配分戦略の改善を決定します。なお、「SBI ラップ ALL株式コース」では、投資対象ファンドはすべてSMDAMが設定・運用をするファンドであり、加えて同社から投資助言を受けているため、同社に対して提案などを行う場合があります。

6. 注意事項

本資料は、SMDAMから提供を受けた情報などを基にFOLIO が作成したものです。本資料にはFOLIO のサービスと商品についての情報を含みますが、お客様の投資目的、財務状況、資金力にかかわらず、情報の提供のみを目的とするものであり、金融商品の勧誘、取引の推奨、売買の提案を意図したものではありません。また、本資料はFOLIO が客観的で信頼できるとされる情報にもとづいて作成したのですが、FOLIO は、本資料が提供する情報、分析、予測等の正確性、確実性、完全性、安全性等について一切の保証をしません。FOLIOは、本資料を参考にした投資勧誘が将来の利益あるいは損失の回避を保証・示唆するものではありません。また、提供された情報等に起因して、お客様が損失を被った場合でも、FOLIO は一切の責任を負いません。

株式会社 FOLIO

金融商品取引業者（第一種金融商品取引業、投資助言・代理業、投資運用業）

関東財務局長（金商）第 2983 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

2025.12